

通し番号	4429
------	------

分類番号	21-35-15-02
------	-------------

(成果情報名) 灰色かび病に対するバチルス ズブチリス水和剤のダクト散布登録の取得
[要約] 施設カンキツの灰色かび病に対し、バチルス ズブチリス水和剤（平成22年1月20日に登録拡大）のダクト散布は、高い防除効果がある。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・足柄地区事務所 連絡先0465-29-0506

[背景・ねらい]

施設カンキツ栽培におけるバチルス ズブチリス水和剤のダクト散布の灰色かび病に対する防除効果を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1 発病花卉率、果実発病度、果実発病率ともバチルス ズブチリス水和剤のダクト散布（開花期前～開花終わり 15g/10a/日）は、クレソキシムメチル水和剤3,000倍1回散布に比べ同等以上、無処理に比べ高い防除効果が認められる（表1、2）。なお、薬害は認められない。
- 2 開花期間が長いと、クレソキシムメチル水和剤1回散布に比バチルス ズブチリス水和剤のダクト散布の効果がより高くなる（表1、2）。

[成果の活用面・留意点]

- 1 平成22年6月現在、バチルス ズブチリス水和剤のダクト散布の登録内容は、かんきつ灰色かび病に対し、使用方法はダクト投入、使用量は15g/10a/日、使用時期は発病前～発病初期、使用回数は－（制限なし）。
- 2 ラベルに記載された使用基準を守り、正しく使用する。

[具体的データ]

表1 施設カンキツにおける灰色かび病に対するバチルス ズブチリス水和剤ダクト散布の防除効果 (平成19年度)

	散布期間	発病程度別果数					発病率	発病度
		0	1	2	3	4		
バチルス ズブチリス水和剤 ダクト散布 15g/10a/日	2/5~9 2/13~15	140	10	0	0	0	6.7	1.7
クレソキシムメチル水和剤 立木全面散布 3000倍	2/13	130	11	0	0	0	7.3	1.8
無処理		125	25	0	0	0	16.7	7.5

※ 開花期間 2008/2/1~2/15

表2 施設カンキツにおける灰色かび病に対するバチルス ズブチリス水和剤ダクト散布の防除効果 (平成20年度)

	散布期間	発病程度別果数					発病率	発病度
		0	1	2	3	4		
バチルス ズブチリス水和剤 ダクト散布 15g/10a/日	2/1~3/6	81	18	2	0	0	19.3	6.7
クレソキシムメチル水和剤 立木全面散布 3000倍	2/18	46	28	8	2	0	45.1	19.7
無処理		44	29	14	12	9	60.1	31.9

※ 開花期間 2009/2/1~3/6

$$\text{発病度} = \{ ( \text{「発病程度 4」の果数} \times 4 + \text{「3」} \times 3 + \text{「2」} \times 2 + \text{「1」} \times 1 ) \} \div ( \text{全調査果数} \times 4 ) \times 100$$

[資料名] 平成19、21年度度試験成績書 (カンキツ・キウイフルーツ)

[研究課題名] 新農薬の実用化試験等

[研究期間] 平成18~20年度

[研究者担当名] 眞壁敏明